

令和 7 年度

札幌科学技術専門学校

自己評価及び学校関係者評価結果報告書

学校法人 総合技術学園

札幌科学技術専門学校

はじめに

本校における学校評価は、学校教育法及び学校教育法施行規則に従い、学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図るため、必要な措置を講ずることによりその教育水準の向上に努めることを目的としています。

また、自己評価の結果やその改善策については、学校関係者評価委員会による評価を行い、その結果を公表することにより説明責任を果たすとともに、地域や企業との連携・協力による特色ある専修学校づくりを図っていくことに努めます。

1. 学校関係者評価委員および学校評価委員

<学校関係者評価委員>

氏 名	種 別	所 属
A 氏	高等学校関係者	元道立高校校長、現私立高校校長
B 氏	地域住民	大通地区西17丁目町内会会長
C 氏	卒業生	専門課程第4期卒業生（生物工学科）
D 氏	保護者等	専門課程二級自動車整備士コース2年生保護者
E 氏	関連業界関係者	株式会社 滝川自工

<学校評価委員>

氏 名	種 別	所 属
教職員A	—	札幌科学技術専門学校 校長
教職員B	—	札幌科学技術専門学校 学務部長
教職員C	—	札幌科学技術専門学校 就職支援室長
教職員D	—	札幌科学技術専門学校 総務部次長
教職員E	—	札幌科学技術専門学校 建築技術学科学科長
教職員F	—	札幌科学技術専門学校高等課程 教務部主任

2. 自己評価及び学校関係者評価委員会の主な日程

（令和7年度関係）

- ① 12/ 1・第1回学校評価委員会：学校評価の進め方等について
- ② 2/ 2・自己評価の実施
- ③ 2/17・自己評価結果の教職員への提示
- ④ 2/18・学校評価委員会：自己評価結果と改善策について
- ⑤ 3/16・自己評価結果に対する改善策の教職員への提示
- ⑥ 5/15・学校関係者評価委員会：自己評価結果及び改善策についての評価・ご意見等の聴取
- ⑦ 6/29・令和7年度自己評価及び学校関係者評価結果報告書の公表
- ⑭ 7月上旬・HP等で公表予定

3-1 令和7年度 自己評価票 <専門課程>:結果

評価点：適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

項目	番号	質問内容	評価点	平均
・教育 目 標 理 念	1-1	本校の教職員として、教育理念、教育目標、教育方針等は理解しているか	3.2	3.1
	1-2	学生や保護者等に対して、本校の教育理念等は周知、理解されているか	3.0	
	1-3	社会や関連業界のニーズを理解し、教育目標の達成に向けて学生の実態を踏まえた教育を展開しているか	3.1	
学 校 運 営	2-1	「学校運営方針」や中期目標「科技専中期ビジョン2022～2027」について理解しているか	3.1	2.9
	2-2	中期目標を踏まえた事業計画となっているか	2.9	
	2-3	組織・体制は学校運営上、有効に機能しているか	2.5	
	2-4	学則・就業規則は法令や規則の変更等に応じて見直しが図られているか	3.0	
	2-5	教育活動等に関する情報公開がホームページ等で適切になされているか	3.1	
	2-6	情報システム化によって帳票管理等の業務効率化が図られているか	2.6	
教 育 活 動	3-1	教育理念、教育目標に沿ったカリキュラムの編成や実施がなされているか	3.1	3.0
	3-2	育成人材像や関連業界のニーズを踏まえ、修業年限に応じた教育到達レベルを設定し、そのための学習時間を確保するためのカリキュラムとなっているか	3.1	
	3-3	実践的な職業教育を達成するために教育方法の工夫や開発等を行っているか	2.9	
	3-4	実践的な職業教育として、インターンシップや職業見学等を積極的に利用しているか	3.1	
	3-5	明確な資格取得目標を設定し、カリキュラムの中で体系的に指導を行っているか	3.2	
	3-6	関連分野における最新の知識や技術を備えた教育（本務・兼務を含む）を配置できているか	2.9	
	3-7	教員に対して、関連分野における最新の知識や技能等の修得、指導力向上その他を目的とした研修等に参加する機会を提供されているか	2.7	
	3-8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	2.9	
	3-9	成績評価、進級または卒業認定の基準は明確であるか	3.1	
学 修 成 果	4-1	就職支援室との連携を強化するなどして、就職率の向上が図られているか	3.0	3.1
	4-2	対策授業を行うなど、資格取得率の向上が図られているか	3.4	
	4-3	学生支援センターと連携を強化するなど、退学率の低減が図られているか	3.1	
	4-4	卒業生・在校生の社会的な活躍を把握しているか	2.9	
	4-5	就職先企業との情報交換などにより卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校のエデュケーションの改善に活用しているか	2.9	
学 生 支 援	5-1	進路・就職に関する支援体制は十分に機能しているか	3.1	3.0
	5-2	学生相談に関する体制は十分に機能しているか	3.4	
	5-3	学生・保護者を経済的に支援する体制はあるか	3.3	
	5-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	2.6	
	5-5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	2.7	
	5-6	情報交換や情報提供など保護者と適切な連携がなされているか	3.1	
	5-7	卒業生への支援体制はあるか	2.9	
環 境 育 成	6-1	教育施設や設備は、教育上の必要性に対応できるよう整備、更新されているか	2.2	2.8
	6-2	インターンシップ等を奨励するために学生が学外で活動しやすい教育体制となっているか	3.1	
	6-3	防災に対する訓練・組織編制（体制）は整備されているか	3.0	
募 集 入 学 生 の 受 け 入 れ	7-1	高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組みが行われているか	3.0	2.9
	7-2	学生募集活動は、適宜、見直しや工夫が行われているか	2.6	
	7-3	学生募集活動において、学校案内やホームページ等で教育成果（資格取得・就職状況等）は正確に伝えられているか	2.9	
	7-4	学納金は学校経営や学生募集の観点から妥当なものとなっているか	3.2	
財 務	8-1	学校の財務基盤は安定しているか	2.1	2.9
	8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	2.9	
	8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	3.2	
	8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	3.2	
法 令 等 の 遵 守	9-1	労働環境における就業規則や定年規定など、関連する法令・規定の遵守と適正な運営がなされているか	2.9	2.9
	9-2	個人情報の保護や適正な活用に関する、意識の醸成がなされているか	2.8	
	9-3	自己評価の適切な実施及び学校関係者評価委員との連携による学校運営の改善を行っているか	3.0	
地 域 貢 献 ・ 社 会 貢 献	10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献（試験会場やセミナーなどへの貸し教室等）を行っているか	3.2	3.1
	10-2	学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	2.8	
	10-3	地域に対する公開講座・教育訓練（中学生の受け入れ等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3.2	
国 際 交 流	11-1	留学生の受け入れについて、担当する部署や役割分担が組織として位置づけられているか	3.1	3.1
	11-2	留学生の学習・生活指導等について、支援するための体制が整備されているか	2.8	
	11-3	日本語教育機関、留学生進学相談会に対して、情報提供・情報共有等の取組みが行われているか	3.2	
	11-4	受け入れ後において、在籍管理（出席・学習状況の確認等）が適切に行われているか	3.1	

3-2 令和7年度 自己評価票【高等課程】:結果

評価点:適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

項目	番号	質問内容	平均	平均
・ 教 目 念 育 標 理	1-1	教育理念、教育方針等は印刷物や掲示物などで日常的にその意識を醸成しているか	3.4	3.3
	1-2	教育目標達成のため「教育計画」に則った 教育活動が推進されているか	3.3	
	1-3	専門学校への進学や就職への適性を高める選択・コース・分野の構成となっているか	3.1	
学 校 運 営	2-1	「学校運営方針」や「科技専中期ビジョン2022～2027」について理解しているか	2.8	2.9
	2-2	「科技専中期ビジョン2022～2027」を踏まえた事業計画となっているか	2.5	
	2-3	組織・体制は学校運営上、有効に機能しているか	2.6	
	2-4	給与や時間外勤務等に関する整備、労使間の協議が適切に行われているか	3.3	
	2-5	教育活動等に関する情報公開等がホームページなどで適切に行われているか	2.9	
	2-6	人的管理や教務統計などが、情報システム化により業務の効率化が図られているか	3.0	
教 育 活 動	3-1	学校評価や情報公開に基づく『質の保証・向上』のため、専門課程との連携(情報交換)を図っているか	2.1	2.9
	3-2	高・専一貫教育による産業技術者の育成を目指した取組が、専門課程と連携して体系的・計画的なものになっているか	2.4	
	3-3	実践的な職業教育の視点に立った授業方法の工夫・開発などが実施されているか	2.5	
	3-4	専門課程の各関連学科に関する、基礎的・基本的な知識や技能を身に付けさせるカリキュラムの設定になっているか	2.9	
	3-5	専門4分野は産業構造の変化や技術の革新に対応しうる能力を育成する教育課程となっているか	3.0	
	3-6	専門課程ガイダンス(1年)・専門課程訪問(2年)による専門課程研究について、計画的・系統的な指導が行われているか	2.8	
	3-7	生徒の学習実態を把握して教員間で共通理解のもと指導に当たっているか	3.3	
	3-8	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.1	
	3-9	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.4	
	3-10	学校教育目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	2.3	
	3-11	関連分野における優れた教員(本務・兼務を含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	1.9	
	3-12	生徒指導や教科指導の研修案内がされており、参加の機会が確保されているか	2.5	
生 徒 指 導 等	4-1	基本的生活習慣の確立のための取組みが行われているか	3.6	3.4
	4-2	生徒の安全管理のための取組等(災害共済保険、スクールカウンセラー、発達障害のある生徒等への支援など)が行われているか	2.8	
	4-3	生徒・保護者からの相談体制が整備されているか	3.5	
	4-4	進学・就職指導に関わる段階的な指導体制は整備されているか	3.1	
等 活 動 別	5-1	特別活動の目的に沿って、計画的・系統的な指導が行われているか	3.1	3.2
	5-2	保護者会(科技高を応援する会)と連携した活動を推進しているか	3.1	
学 修 成 果	6-1	学年と進路指導部が連携を強化し、進学率や就職率の向上が図られているか	3.6	3.4
	6-2	学年及び教科と連携して、資格取得率の向上が図られているか	3.4	
	6-3	教職員で情報共有し、退学率の低減に向けたきめ細かな対応が行なわれているか	3.3	
	6-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2.1	
生 徒 支 援	7-1	生徒・保護者への経済的側面に対する支援体制は十分に機能しているか	2.9	2.7
	7-2	生徒の健康管理に配慮した教育体制はあるか	2.6	
	7-3	学業を優先したクラブ活動や課外活動に対する指導を行えているか	3.3	
	7-4	保護者との連絡・相談、協力依頼など、適切に連携しているか	3.4	
	7-5	卒業生の情報把握と、それを基にした在校生へのアプローチができているか	2.4	
	7-6	専門課程との連携によるキャリア教育・職業教育の取組みが行われているか	2.3	
環 境 育	8-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように、整備および工夫がされているか	1.8	2.5
	8-2	安全施設、防火施設について、点検及び補修・改修計画が示され、適切に行われているか	2.3	
	8-3	防災に対する体制は整備されているか	2.6	
受 生 徒 募 集 入 れ	9-1	中学校等接続する機関に対する情報提供等の取組みが行われているか	2.9	3.0
	9-2	生徒募集活動は、適宜、見直しや工夫が行われているか	3.0	
	9-3	生徒募集活動において、学校案内やホームページ等で教育成果(資格取得・進学または就職状況等)は正確に伝えられているか	3.1	
	9-4	生徒納付金は学校運営や生徒募集の観点から妥当なものとなっているか	3.3	
財 務	10-1	中長期的に学校の財務基盤を安定させるための研究・工夫がされているか	1.9	2.8
	10-2	予算・収支計画が有効かつ妥当なものとなるよう、協議・検討がされているか	2.4	
	10-3	財務の会計監査の報告に対して、内容を適切に把握できているか	2.4	
	10-4	財務情報公開の体制について、整備されているか	2.4	
遵 守 の 法 令 等	11-1	法令や規則、通知・通達の遵守と適正な運営がなされているか	2.9	3.1
	11-2	個人情報の保護や適正な活用に関する意識の向上が図られているか	2.8	
	11-3	自己評価の適切な実施及び学校関係者評価委員との連携による課題の改善を行っているか	2.8	
貢 社 献 会	12-1	生徒のボランティア活動について啓蒙し、計画的に行っているか	3.1	2.8
	12-2	北校舎として資格試験会場や専門課程との連携・共用を工夫しているか	2.8	

4 自己評価結果に対する改善策

1 専門課程

(1) 項目「学校運営」

(2-6) 情報システム化によって帳票管理等の業務効率化が図られているか。〈2.6〉

【改善策】

本校独自の「学内N E T」により帳票管理等の業務が効率化されている部分もあるが、「Internet Explorer」モードであり、最新のものとなっていない。メンテナンスの人材育成やペーパーレスの推進を図りたい。使い勝手のよいシステムを検討するとともに、学校全体予算の中で、優先度を上位に位置付けるなどして検討を進めたい。

(2) 項目「教育環境」

(6-1) 教育施設や設備は、教育上の必要性に対応できるよう整備、更新がされているか。

〈2.2〉

【改善策】

実習室のレイアウト見直しや安全点検の定期化、既存設備のメンテナンス強化と消耗品管理の改善、無償ソフトの活用を進めることで、限られた予算内でも実習環境の質向上を図る。校舎全体の老朽化に対しては、大規模改修が難しい状況を踏まえつつ、安全性と学習環境の維持を優先し、劣化箇所の定期点検と小規模補修を進める。また、整理整頓や掲示物・備品の更新、清掃・美化の強化により、古さを感じさせにくい環境づくりを図る。更に産業医に学校全体の点検を実施済みのことから、そこでの提案事項の改善を図ってゆく。

(3) 項目「学生の受け入れ募集」

(7-2) 学生募集活動は、適宜、見直しや工夫が行われているか。〈2.6〉

【改善策】

若手人材の採用で高校生が打ち解けやすい募集活動、高校生の感覚に近い発想を持った人材の採用、学生会への協力依頼など時代に即した募集活動を行う。学校や学科紹介、実習紹介の動画を作成し、定期的に配信することはできないか。また、教員の人柄を知ってもらうことで、高校生に親近感を持ってもらう。加えて、募集活動強化のため、卒業生との連携を検討する。

(4) 項目「財務」

(8-1) 学校の財務基盤は安定しているか。〈2.1〉

【改善策】

財務基盤は安定していない。その原因の一部として ①入学者数が減少傾向にあること。②建物が老朽化していて予定していない急遽の修繕等があること。が考えられます。

① の対策案として

- ・教員が自分の学科の卒業生、在校生の出身高校を訪問して自分の学科を進路担当先生にアピールしてくる。(他学科の質問等に関しては広報部につなげるようにする)
- ・教員が自分の学科に関連している会社等で新しい技術や学校の設備でもできる授業の方法などを教えてもらうなどしてスキルアップを図りその知識を授業に活かす。(職員も同様)

これらの時間を確保できるように学園は教員の増員や講師の増員を考える。成果に応じて手当を出すなどの協力体制が必要と考えます。

② の対策案として

- ・銀行等から借入をして給排水管、暖房設備等の修繕、新設備購入を行うことが望ましいが、入学者数が安定しないと借入も不可能なため現在では難しい。よって対策案は手探り状態である。

2 高等課程

(1) 項目「教育活動」

(3-1) 学校評価や情報公開に基づく『質の保証・向上』のため、専門課程との連携(情報交換)を図っているか。〈2.1〉

【改善策】

現状は進路指導部が「内部進学試験」や「総合的な探究の時間」における専門課程体験行事について、キャリア教育の側面から専門課程広報部と連携している。

また、高等課程生徒が専門課程へ入学する際に担任と学科教員との間で生徒情報の共有をして入学後の指導へ役立てる取組を行っている。

改善策として、これらの取組は今後も維持しつつ高等課程と専門課程双方にとって学生・生徒への教育力を向上させるための定期的なミーティングの場を設け、専門課程各学科教員も参加する形で情報交換のできる仕組みを整えていく。

(2) 項目「教育活動」

(3-2) 高・専一貫教育による産業技術者の育成を目指した取組が、専門課程と連携して体系的・計画的なものになっているか。(2.4)

【改善策】

進路指導の一環としての専門課程体験を実施し、それをとおして専門分野での学びについて考えさせたり専門的な職業分野に意識を向けさせる取組を行っているが、産業界との結びつきはなく、業界を意識した教育内容にまで至っていない。

改善策として、業界との接点のある専門課程教員から情報や助言をもらい指導方法や内容を時代状況に合わせてアップデートさせていけるよう取組む。そのために、日頃の授業へ専門課程教員がスポット的にかかわる機会を設けるなどして協働する機会を模索していく。また校舎移転後の取組として、学生チューター制度を設けて高等課程生徒が専門課程学生へ専門内容について相談できるような学生生活用型の連携も考えられる。

(3) 項目「教育環境」

(8-1) 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように、整備および工夫がされているか。〈1.8〉

【改善策】

さまざまな課題がある中で現場の工夫によって最低限の環境を維持している。

校舎移転の関係や修繕費用の面などで大規模な修繕は現実的でないことから、こまめな点検をするなどして予防的・応急的な対応を進めることが必要である。

また実習設備などは今後の校舎移転に伴って専門課程と共有することになることから双方での活用の仕方を話し合い生徒の学ぶ環境の向上に努める。

(4) 項目「教育環境」

(8-2) 安全施設、防火施設について、点検及び補修・改修計画が示され、適切に行われているか。

(2.3)

【改善策】

改善策として、8-1の前段と同様である。

防火施設に関しては毎年点検が行われており基本的な対応はとられている。ただ、屋外の非常階段の使用について心配の声が聞かれるため、改修費用の問題はあるが、少なくとも安全上問題がないことや点検結果などを職員に公表するなどして安心・安全であることの理解を得る対応が必要である。

以上

5 自己評価結果及び改善策に対する学校関係者評価委員からの評価・ご意見等

《専門課程》

1 2-6 情報システム化によって帳票管理等の業務効率化が図られているか。(2.6)

・Internet explorer サポートが終了しているので、早めの切り換えが必要。

2 3-6 関連分野における最新の知識や技術を備えた教育（本務・兼務を含む）を配置できているか。(2.9)

3-7 教員に対して、関連分野における最新の知識や技術等の修得、指導力向上
その他を目的とした研修会に参加する機会を提供されているか。(2.7)

・専門性の高い教員の確保は、どの学校種にとっても大きな課題である。企業人材や卒業生を活用して、学校教育の専門性を確保する必要がある。

3 4-4 卒業生・在校生の社会的な活躍を把握しているか。(2.9)

・卒業生・在校生の社会的活躍については、教員が毎年、数人ピックアップして、個別連絡し、直接会っていくしかないのかもしれませんが、特に、在校生にとって、卒業生がどのように活躍しているのかは知りたいと思います。

4 5-1 進路・就職に関する支援体制は十分に機能しているか。(3.1)

・自動車整備業界も人手不足の状況にあり、民間整備工場への就職が以前より増えてきているとはいえ、まだまだ厳しい状況にある。企業としては情報を発信できる場を更に増やして欲しいと考えており、学生にとっても将来の選択肢が増えることに繋がるのではないかと。

5 6-1 教育施設や設備は、教育上の必要性に対応できるよう整備、更新されているか。(2.2)

・検査員として仕事をしています。ちょっとした不注意や慣れにより、けがや事故を起こす可能性があるため、実験室のレイアウト（作業動線をよくする）や安全点検は今後も行ってくださいね。

6 7-2 学生募集活動は、適宜、見直しや工夫が行われているか。(2.6)

7-3 学生募集活動において、学校案内やホームページ等で教育成果（資格取得・就職状況等）は正確に伝えられているか。(2.9)

・改善策の学校・学科の紹介、実習の動画は、目で見てもとても分かりやすいと思います。また、教員のPRもとても良いと思います。オフの日は何をしているかや趣味などお人柄が分かるものが良いですね。

- ・学校の広報には、SNSの活用が有効である。学科単位で取り組んではどうか。高校では、学校単位の他に部活動単位で活用されている。
- ・私個人としては、何度かHPを拝見しましたが、わかりやすいと思っています。
- ・Instagramの発信や卒業生との繋がりが、時代にあった募集活動を取り入れているところがよいと感じています。学校の様子がSNS等で知ることができるのは、高校生や保護者も安心材料になると思います。

7 8-1 学校の財務基盤は安定しているか。(2.1)

- ・入学者数が減少している中で、財務面で安定していない中でも、教員による働きかけにより、改善策をあげており、是非、行動してってください。
- ・学生数の減少で学校の収支も大変だと思うが、仙台や新潟の整備専門学校ではターゲットを外国人留学生に切り替えており、各学年数百人規模の学生が在籍している。また、受け入れる留学生のレベルも日本人より下げているという話もある。問題点としては、これまでは外国人も就職できていたことから、甘く考える留学生も出てきており、外国人に関しては内定の時期が遅れてきていることや全員就職、アルバイト管理（留学生はアルバイトの労働時間に制約がある）が考えられる。しかし、留学生は設備等より就職できることが第一で、就職できることが分かればSNS等で情報が広がるため、学生の確保に繋がりがやすいと思われる。更に企業の支援金等で学費のサポートをすることも良いと思われる。

8 8-3 財務について会計監査が適正に行われているか。(3.2)

- ・評価が高めなので良いと思います。

9 10-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献・（試験会場やセミナーなどへの貸し教室等）を行っているか。(3.2)

- ・今後も社会貢献を行ってください。

【高等課程】

1 3-2 高・専一貫教育による産業技術者の育成を目指した取組が、専門課程と連携して体系的・計画的なものになっているか。(2.4)

- ・改善策から専門課程との断絶を感じる。校舎移転を機に（学生・生徒・教員も）共に学ぶ仲間となるような取組、仕掛けが必要。

2 3-10 学校教育目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。(2.3)

3-11 関連分野における優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネジメントが行われているか。(1.9)

- ・専門性の高い教員の確保は、どの学校種にとっても大きな課題である。企業人材や卒業生を活用して、学校教育の専門性を確保する必要がある。

3 7-4 保護者との連絡・相談、協力依頼など、適切に連携しているか。(3.4)

- ・相談体制がきちんと整っていることは、保護者にとっても安心できると思います。

4 7-5 卒業生の情報把握と、それを基にした在校生へのアプローチができていますか。(2.4)

- ・専門課程と同様に評価が低いので、教員が個別に連絡をしていくしかないのかもしれないかもしれません。

- 5 8-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように、整備および工夫がされているか。(1.8)
- 8-2 安全施設、防火施設について、点検及び補修・改修計画が示され、適切に行われているか。(2.3)
- 8-3 防災に対する体制は整備されているか。(2.6)

・予算の面から施設・設備の整備が難しい部分はあるでしょうが、今後もこまめな点検を行っていただきます。

・教育環境の評価がすべて低いですが、予算の都合もあると思うので、難しいのかなと感じました。

(その他)

- 1 専門課程・高等課程ともに学生支援や就職支援に力を入れている印象を受けました。保護者として安心感があります。
- 2 様々な学生さんがいる中、学校も大変なことが多いと思いますが、これからも学生一人ひとりに寄り添った関りを期待しております。
- 3 札幌科学技術専門学校は道内企業に就職する割合はどのくらいなのか知りたい。
また、最近は新卒者の給与が上がっており、先輩と給与が逆転するなどバランスシートが保てるか問題になっている。そのため、専門学校でもそれに見合う修練を積む必要があると思う。

以 上

6 まとめ

令和4年度に「科技専中期ビジョン 2022～2027」が示されたことから、「自己評価」についての項目や質問内容の大幅な見直しを行い、改訂した評価項目で実施し、それに基づいた学校評価は4年目となりました。

この間、学校関係者評価委員の方々による入学式や卒業式などの学校行事へのご出席や「自己評価結果」や「改善策」に対するご意見・ご感想等が寄せられ、幅広い視点からの貴重なご意見やアイデアをいただくことができました。

今後は、本校における課題解決のための取組と地域や関係する企業等との連携・協力による特色ある学校づくりを図るなど、様々な観点から学校運営に反映させることができればと考えています。

また、令和8年4月1日施行の「学校教育法の一部を改正する法律」を受け、「自己評価」が「自己点検評価」となった（高等課程は従前どおり）ことから、令和8年度においては、「専修学校における学校評価ガイドラインの改正」に従い、評価項目・質問内容等の見直しのための計画的な業務の推進が求められています。学校関係者評価委員の方々には、引き続き、貴重な評価やご意見をいただきたくお願い申し上げます。

最後に、お忙しい中、多岐にわたるご協力をいただきました学校関係者評価委員の各位に感謝とお礼を申し上げ「自己評価及び学校関係者評価結果報告者」といたします。

令和8年6月24日

札幌科学技術専門学校 学校評価委員会
委員長(校長) 児 玉 佳 範